

町をきれいにしようという、皆さんの思いがたくさん集まりました。

清掃活動 Clean up Activities



西別川清掃

| 標茶町虹別西別川流域 | 5月10日

摩周水環境保全実行委員会（館定宣委員長）主催の西別川清掃が虹別周辺の西別川流域で行われました。町民ら26人が参加し、清掃活動に汗を流しました。可燃ごみ20kg、不燃ごみ20kgが回収されました。



第15回町内クリーン作戦

| 標茶町ルルラン通り | 5月9日

本町主催の第15回町内クリーン作戦が行われました。町道ルルラン通りのルルラン踏切から国道391号線までの約4キロの区間で清掃を行い、町民ら約180人が参加し、可燃ごみ280kg、不燃ごみ160kgが回収されました。

地球環境を保全する次のステップ。

環境フォーラム Environmental Forum



釧路湿原クリーンデー

| 標茶町塘路湖周辺 | 5月23日

釧路湿原を美しくする会標茶支部（池田裕二支部長）主催の釧路湿原クリーンデーが、塘路湖畔や塘路林道、コッタロ湿原周辺などで行われました。町民ら約150人が参加し、清掃活動を行いました。可燃ごみ230kg、不燃ごみ190kgが回収されました。



第14回摩周・水・環境フォーラム

| 別海町西春別西公民館 | 5月31日

摩周水系西別川流域連絡協議会（水沼猛会長）などが主催の第14回摩周水環境フォーラムが開催されました。「環境保全から生まれる産業の未来」をテーマに、環境保全と産業を結び付ける認証制度の紹介や西別川の旧河川に関する研究結果などの基調講演を行いました。講演の後、西別川上流域のバイカモの保全活動やエゾシカ対策の現状についての報告も行われました。

森と川の月間の事業である植樹活動、清掃活動などに多くの町民の方が参加されました。

毎年5月は、標茶町「森と川の月間」。

多くの町民の皆さんの手により、7,215本が植えられました。

植樹活動 Arbor Day



第14回虹別萩野魚付保安林再生事業植樹

| 標茶町虹別萩野地区保安林 | 5月26日

本町主催の第14回虹別萩野魚付保安林再生事業植樹が虹別萩野地区保安林で開催され、ヤチダモの苗木300本を植樹しました。国営事業により整備された保安林の枯れた木を再生するため、釧路開発建設部で始めた取り組みを本町が引き継いで行っている事業で、この日は町民など約40人が参加し、保安林の再生の願いを込め苗木を植えました。



第22回シマフクロウの森づくり百年事業植樹祭

| 標茶町虹別西別川流域 | 5月17日

虹別コロカムイの会（館定宣会長）が虹別地区西別川流域の町有地でミズナラやハンノキなどの苗木3,500本を植樹しました。この取り組みは絶滅の恐れのあるシマフクロウが少しでも生息しやすい環境をつくるための活動です。この日は西別川周辺の植樹活動を行い、町民や道内外の会員など約250人が参加しました。



平成27年度厚岸町民の森植樹祭

| 厚岸町太田地区町有林 | 5月31日

厚岸町民の森造成実行委員会（村上秀則会長）主催の平成27年度厚岸町民の森植樹祭が厚岸町太田地区町有林で開催され、アオダモやミズナラなど5種類の苗木2,250本を植樹しました。この取り組みは別寒辺牛川、ホマカイ川流域環境保全協議会の活動の一環として上流に位置する本町の町民も毎年参加している事業です。この日は約600人が参加し、苗木を植えました。



第21回豊かな緑と魚のリバーサイド植樹活動

| 標茶町コッタ口町有林 | 5月30日

豊かな緑と魚のリバーサイド植樹活動実行委員会（近藤龍洋委員長）主催の植樹活動がコッタ口町有林内で開催されました。ミズナラやヤチダモなどの苗木1,165本を町民のほか、町外からは釧路市漁協をはじめ多くの関係団体から約180人が参加して植樹に汗を流しました。植樹後は憩の家かや沼で交流会が行われ、釧路市漁協と釧路市東部漁協女性部の協力による旬の時鮭を使った「トキ鍋」などが振る舞われました。